

売 扱 物 件 に つ い て

売扱いの条件となりますので、必ずお読みください。

□ 契約の目的

売扱物件（以下「物件」と言います。）は、原則、都市計画法及び建築基準法上の用途地域の制限に従った用途を想定した売買契約とし、これを契約の目的とします。また、別途契約条件に用途指定がある場合は、前述の考え方と合わせてその条件も契約の目的とします。

□ 地下埋設物について

・物件は原則、地歴調査による地下埋設物の存在の推定確認を行い、地下埋設物の存在が疑わしい物件については試掘等の調査を行っています。地下埋設物が存在する場合、物件調書に当該調査結果を記載しています。

・物件によっては、地中に自然石等が散見、あるいはまとまって存在する場合がありますが、自然石の撤去及び売買代金からの撤去費相当額の減額等について、横浜市（売主）は対応いたしません。

・物件によっては、湧水が出る場合がありますが、湧水の処理及び売買代金から湧水処理費相当額の減額等について、横浜市（売主）は対応しません。

□ 測量及び、境界立ち合い（筆界確認書）について

・物件は全て、物件調書に特段の記載のない限り、現況測量を行い、境界標の存在を確認しています。ただし、確定測量は行っていません。

・現況測量の結果と、不動産登記記録及び図面（法務局備え付けの地積測量図、又は区画整理換地図等）を比較した結果、境界点間距離及び面積は、全て不動産登記規則第10条第4項の許容誤差の範囲内にあります。このため、隣接地権者との筆界確認書は、原則として取り交わしていません。

□ 水害ハザードマップ等の情報について

・物件は全て、所在地若しくは物件が所在する町について、「横浜市行政地図情報提供システム」における「わいわい防災マップ（洪水、内水、高潮浸水想定区域）」並びに横浜市ホームページ「横浜市の災害（過去の災害履歴）」のうち、大雨による浸水被害の情報を確認しています。本情報の記載がない（浸水想定区域外もしくは過去の災害履歴（浸水）の該当がない）物件についても、雨の降り方や土地利用の変化等により浸水被害を被る可能性がありますので御注意ください。

・記載している地域防災拠点は「わいわい防災マップ（洪水、内水、高潮浸水想定区域）」による情報です。

・物件が所在する町における過去の災害履歴は、横浜市総務局危機管理部緊急対策課がホームページ上で公表している「横浜市の災害（過去の災害履歴）」のうち、大雨による浸水被害が発生した年代と累計の回数を記載しています（必ずしも当該災害が売買物件所在地において発生したものではありません。）。なお、大雨による浸水以外の被害（崖崩れや住居損壊等）については別途御確認ください。

□ 一般事項について

・物件は全て、物件調書に特段の記載のない限り、現状での売買及び引渡しとなります。買受に当っては、物件調書を御覧のうえ、必ず事前に現地及び近隣状況を御確認ください。なお、物件調書と現状が異なる場合には現状を優先します。

最低売却価格は、一般事項及び物件調査の内容を考慮して、算定しています。一般事項及び物件調査の内容については、売買代金からの減額等について、横浜市（売主）は対応いたしません。

建物の建築を含む土地利用について、都市計画法、建築基準法、条例その他の法令等により課される制限や条件及び電気、ガス、水道等の供給処理施設の整備等について、横浜市（売主）は対応いたしません。

特に、開発行為を計画している場合や個人が自宅等の建築を目的に入札に参加される場合は、事前に十分な調査のうえ入札に御参加ください。

- ・ 物件によっては、敷地内にフェンス、塀、柵、U字溝、枠等の工作物が設置されていますが、これらの工作物の補修、修繕、改修、撤去、再建築、安全対策等及びその費用負担について、横浜市（売主）は対応いたしません。また、これらの工作物の図面等はありません。
- ・ 物件によっては、敷地内及び隣接地に傾斜地が含まれていたり、擁壁、地下車庫、直壁等（付帯する水抜き穴等を含む）の構造物が築造されていますが、経年劣化による影響については確認しておらず、ひび、破損、エフロレッセンス（石灰質の析出）及び亀裂等が見られる場合もあります。また、隣接地の水抜き穴から排水が流れ込んでいる場合があります。これら傾斜地や構造物の補修、修繕、改修、撤去、再建築、安全対策等及びその費用負担、その他隣接地権者等との協議について、横浜市（売主）は対応いたしません。また、擁壁や地下車庫等の構造物について、宅地造成時の構造図面及び構造計算書、その他の図面等はありませんので、建築行為等にあたっては、必要な手続の申請先である各審査機関等へお問合せください。
- ・ 崖（がけ）等による敷地の安全措置に関する制限や条件については、特に御注意ください。横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 物件及び隣接地の擁壁、直壁及びブロック塀、樹木等について、地上及び地中にて境界を越えている場合があります。これら越境物の移設、撤去、再建築等及びその費用負担、その他隣接地権者等との協議等について、横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 物件によっては、上下水道設備及びガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認しておりません。これらの敷設設備の補修、修繕、改修、撤去、再建築、移設等及びその費用負担について、横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 物件の敷地内又は隣接地等に電柱、電線、ケーブル、ゴミ置き場、道路設置物（ガードレール等）及び道路標識（カーブミラー等を含む）等がある場合には、移設及び撤去の可否等の取扱いについて、設置者又は管理者等にお問合せください。横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 歩道の切下げ等の道路自費工事については、管理者にお問合せください。横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 物件の敷地内に、樹木、切り株及び雑草等がある場合、剪定、除去及び伐採等の費用負担について、横浜市（売主）は対応いたしません。ごみ、ガラ及び碎石等の残置物除去についても同様です。
- ・ 土壤汚染については、物件調査に特段の記載のない限り、有害物質使用等の経過がないことを確認しています。
- ・ 地盤に関する調査は行っていません。地盤の改良や補強について、横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・ 分筆・地積更正等の登記の可否に関する確認は行っておりません。

- ・物件の敷地内に、既に滅失した建物登記が残っていることが判明した場合、当該建物を横浜市が所有していた場合等を除き、横浜市（売主）は対応いたしません。
- ・物件のフェンスが南京錠により施錠されている場合、原則として物件引渡時（代金全額お支払時）に南京錠の鍵を一時貸与します。物件引渡後、速やかに買受人が管理する南京錠等に交換し、既存の南京錠は貸与した鍵とともに横浜市に返還していただきます。

□ 各物件の詳細については、物件調書に記載しています。

（主な項目の見方）

所在地欄には、物件の筆頭地番を記載しています。

住居表示欄には、物件が位置する地域に住居表示が実施されている場合、その街区番号までを記載しています。

内訳、面積欄の記載内容は次のとおりです。

- 「公簿面積」 不動産登記記録上の地積を記載しています。
「現況測量面積」 現況測量の地積を記載しています（26 ページ参照）。
「地積測量図面積」 法務局備え付けの地積測量図による地積を記載しています。

道路と敷地の関係欄には、物件に隣接している道路の方角及び道路幅員を記載しています。

法令に基づく制限欄

都市計画法・建築基準法欄には都市計画法・建築基準法に基づく制限について記載しています。制限の詳細については、本市WEBページ又は担当の窓口へお問合せください。

本市WEBページ「建築・宅地に関する一般相談・窓口案内、不動産調査（重要事項説明等）」参照

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kenchiku/annai/20140401121655.html>

- ・建築基準法第22条の規定による区域指定は横浜市一円です（昭和26年10月告示第132号）が、「防火地域」「準防火地域」では適用されません。
- ・日影による中高層の建築物の高さの制限（日影規制）は、建築基準法第56条の2第1項及び横浜市建築基準条例第4条の4により制限対象となる地域・区域を指定し、規制対象となる建築物及び規制時間を定めています。

その他の制限欄には、都市計画法・建築基準法以外の法令に基づく制限について記載しています。制限の詳細については、本市WEBページ又は所管課へお問合せください。

- ・宅地造成等規制法に定める宅地造成工事規制区域に位置する物件における切土・盛土等の宅地造成行為に当たっては、横浜市長の許可が必要となる場合があります。
- ・「周知の埋蔵文化財包蔵地」において、土木工事等を実施する場合は、事前に届出等を行う必要があります。埋蔵文化財包蔵地に該当する場合は、教育委員会事務局生涯学習文化財課（045-671-3284）と協議をお願いします。また、土木工事等の計画にあたっては、事前に必ず同課へお問合せください。
- ・緑化地域では、敷地面積500 m²以上から緑化率の規制の対象となります。
- ・駐車場条例の附置義務区域において、一定の要件を満たす建築物を新築、増築又は用途変

更する場合、駐車場の設置が義務付けられます。また、附置義務区域は、「駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域」と「周辺地区又は自動車ふくそう地区」の大きく2つに分けられ、設置台数等に関する基準は、各々異なります。なお、建築基準法の確認申請前に条例の届出が必要となります。

- ※ 法令に基づく制限欄の事項は、横浜市まちづくり地図情報提供システム（iマッピー）を基に、区域・地域等に指定されているものを記載しております。詳細については、所管課へお問合せください。

また、物件の個別条件によっては建築協定・道路斜線制限等、建築基準法その他の法令等の定めにより、建ぺい率・容積率をはじめ、別途制限や条件が課される場合があります。その他に、建築計画の内容によっては、街づくり協議指針等により、別途制限が課される場合があります。

なお、都市計画決定内容は募集時点におけるものであり、将来変更される場合があります。

私道の負担等に関する事項欄には、私道の負担又はセットバック等の有無、その内容について記載しています。

供給処理施設の状況欄の記載内容は次のとおりです。

- ・それぞれの設置者及び管理者が保有する台帳等に基づいて記載していますが、現地の状況と一致していない場合があります。詳細につきましては、それぞれの設置者及び管理者へお問合せください。

・施設の種類

「有」 … 物件の敷地内に引込管、電線、樹等が整備済みであることを示しています。ただし、引込管、電線、樹等の劣化や、使用が可能であるか否かの調査は行っていません。経年劣化等により設備が現状のままで使用できない場合があります。

「可」 … 物件の前面道路に配管等が整備済であることを示しています。物件内への引き込みには別途工事が必要です。

「無」 … 前面道路に配管等がありません。

- ・整備、補修、再整備及びその費用負担等について、横浜市は対応いたしません。

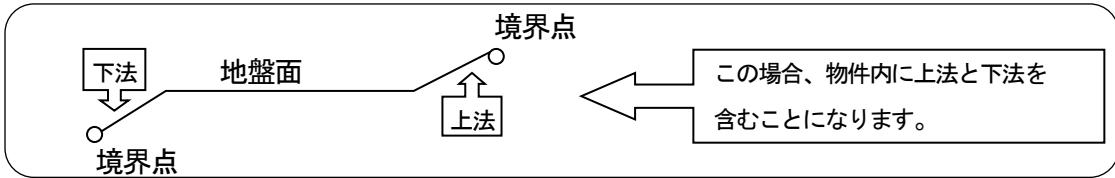
公共施設等欄には、物件が属する区役所及び横浜市立の小・中学校の方角・直線距離を記載しています。(距離は目安です。)

- ・横浜市立の小・中学校については、最短距離の学校ではなく、当該地の通学区域に指定されている学校を記載しています。
- ・通学区域は変更になる場合がありますので、その都度御確認ください。なお、小・中学校の記載については、教育委員会事務局WEBページの小中学校等・通学区域制度の情報を基にしております。

留意事項欄では、上記項目等の詳細、売払物件の状況、工作物・構造物、隣接地の状況及び売買契約の特記事項等、御留意いただきたい点について記載しております。

- ・物件内に法（のり）を含んでいる場合、物件の地盤面に対して下の部分を「下法（したのり）」、上の部分を「上法（うわのり）」と記載しています。

（上法、下法の位置関係）



案内図は、現地までの略図です。

交通機関欄の（道路距離）とは、直線距離ではなく、駅などの交通機関施設から物件まで道路に沿って測定した距離のことです。

- ・徒歩所要時間は、80mを1分として換算しています。
- ・公共交通機関は調査時点のものであり、変更されている場合があります。

現況図は、土地の面積・形状、境界標の点間距離、構造物及び工作物等の位置を図面に表した参考図です。

※なお、現地確認の際は、近隣の御迷惑にならないよう御配慮くださいますようお願いいたします。

物件調書

物件番号 2864

最低売却価格

1,528万円

所在地	横浜市保土ヶ谷区法泉三丁目315番12				
住居表示	横浜市保土ヶ谷区法泉三丁目20番街区				
内訳、面積	地番		地目	公簿面積	現況測量面積
	315番12		宅地	169.39m ²	—
道路と敷地の関係	北東側で幅員約5.5mの舗装市道に接道※2				
法令に基づく制限	都市計画区域		市街化区域	用途地域	第1種低層住居専用地域
	建ぺい率	50%	容積率	100%	高度地区
	外壁後退距離	—	敷地面積最低限度	100m ²	防火・準防火地域等
	日影規制（軒高が7mを超える建築物、又は地上の階数が3以上の建築物/1.5m/3時間/2時間）				
他の制限	緑化地域（都市緑地法）、宅地造成工事規制区域（宅地造成等規制法）				
	景観計画（全市域）、建築物再生可能エネルギー利用促進区域（全市域）				
私道の負担等に関する事項	負担等の有無	無	負担等の内容	—	
供給処理施設の状況	施設の種類		状況		事業所等
	電気	可	地上配線		東京電力エナジーパートナー(株) 0120-995-001
	上水道	可	・前面道路配管100mm・敷地内引込なし		横浜市水道局給水工事受付センター 045-489-3085
	下水道	可	・前面道路配管（雨水1000mm・汚水250mm）		横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷土木事務所 045-331-4445
	都市ガス	無			東京ガス㈱お客様センター 0570-002211
公共施設等	保土ヶ谷区役所		横浜市立初音が丘小学校		横浜市立橘中学校
	物件の北東方 約3.2km		物件の北東方 約1.0km		物件の北東方 約2.7km
留意事項	<p>本物件は現況での引渡しとなります。 「売払物件について」(P26)は売払いの条件となりますので、必ずお読みください。また、事前に現地を十分に御確認のうえ、入札に御参加ください。 本物件敷地内外に位置する工作物(土地に定着する人工物等)、供給処理施設等の補修・移設・撤去・再築造、樹木の剪定、残置物の処分等の費用負担、隣接地権者等との協議については、横浜市(売主)は対応いたしません。また、近隣、隣接地の既存の建物、工作物、擁壁等の状況についても横浜市(売主)は対応いたしませんので、事前に十分御確認ください。特に、個人の方が住宅等の建築目的で入札に参加される場合、事前に十分な調査のうえ入札に御参加ください。</p> <p>※1 本物件は公簿面積により売却します。 ※2 本物件の北東端隣接地はアスファルト舗装された歩道として道路区域に含まれ、当該部分を含む道路幅員は約5.5~7.7mとなっています。また、本物件の南東端隣接地は道路区域に含まれていますが、未利用地で道路形態になっていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物件は北東側で幅員約5.5mの舗装市道に接道する、不整形の一方路地です。 ・本物件の敷地中央から北東部分は概ね平坦ですが、敷地中央から南西該部分は南西向きに傾斜しています。 ・本物件の北東端隣接地の歩道下部に高さ約0~2.7mの擁壁が設置され、本物件の敷地内の北東部分の一部は北東側歩道面よりも約0~2.7m低くなっています。 ・本物件の敷地内に物干台用コンクリートベース等があります。残置物の処理について、横浜市(売主)は対応いたしません。 ・北西側隣接地の水道管の一部が本物件上に位置しています。これについて、隣接地権者との間で取り交わした「覚書」がありますので、地位の承継をしていただきます(売買契約書に明記)。詳細については、財政局ファシリティマネジメント推進課にお問い合わせください。 ・本物件の敷地内の北側に電柱1本、支柱1本及び支線1条が設置されています。移設・撤去等の可否は確認していません。 ・本物件の敷地北側部分に複数の樹木が繁茂しています。 ・本物件の北側で架線が一部敷地上空を通過していますが、移設・撤去等の確認はしていません。 ・本物件の北東側道路沿い敷地内にガードレールが設置されています。移設・撤去等の可否は確認していません。 ・本物件の北東側道路沿いにごみ収集所があります。移設・撤去等の可否は確認していません。 ・本物件は「今井川」沿いの土地であるため、気候及び川の流水状況等によっては臭気等が生じる場合があります。 ・本物件の北東方約100m付近に「法泉公園」、南東方約190m付近に「境木子どもの遊び場」、南方約160m付近に「境木第四公園」があるため、風向き等の気象条件によっては砂埃が舞い、児童の歓声等が聞こえる場合があります。 ・本物件の北西方約190m付近に横浜新道があるため、風向き等の気象条件によっては車両の通過等による騒音・振動・排気ガス等が生じる場合があります。 ・本物件の北西方約170m付近に「保土ヶ谷消防署今井消防出張所」があるため、緊急車両のサイレン等が聞こえる場合があります。 ・本物件の北東側道路向かいの法泉ハイツの敷地内に遊水池があります。 ・本物件の敷地内に管理フェンスが設置されています。このフェンスは境界を明示したものではありません。境界は現況図等で御確認ください。 ・本物件の周辺環境を現地にて十分に確認してください。なお、周辺の空地を含め、既存の建付地にも建物が建設される場合もあり、近隣環境が変化する場合があることを御了承ください。 	「売払物件について」も必ず御確認ください。			
本物件の売扱人(連絡先)	横浜市(財政局 ファシリティマネジメント推進課 045-671-2264)				

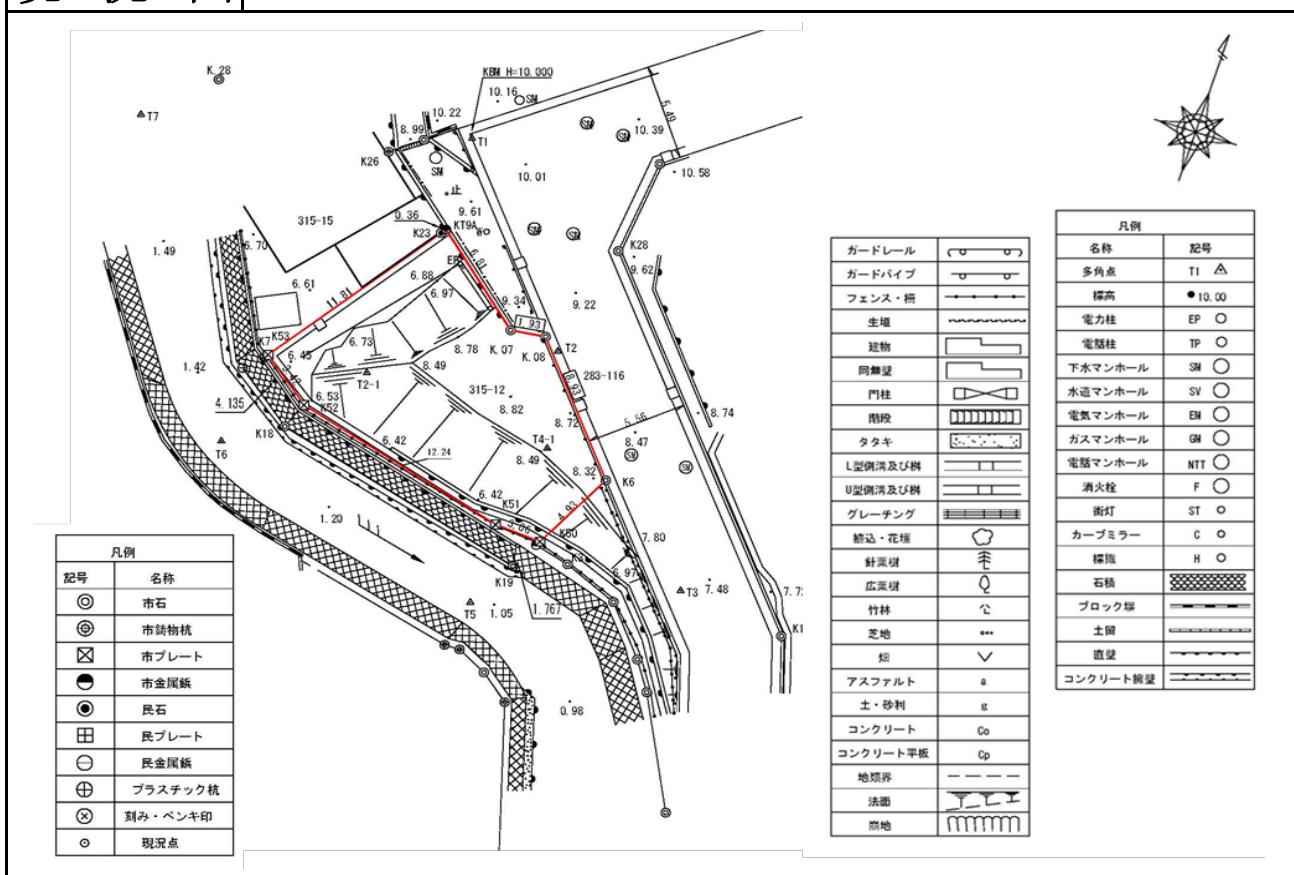
案内図



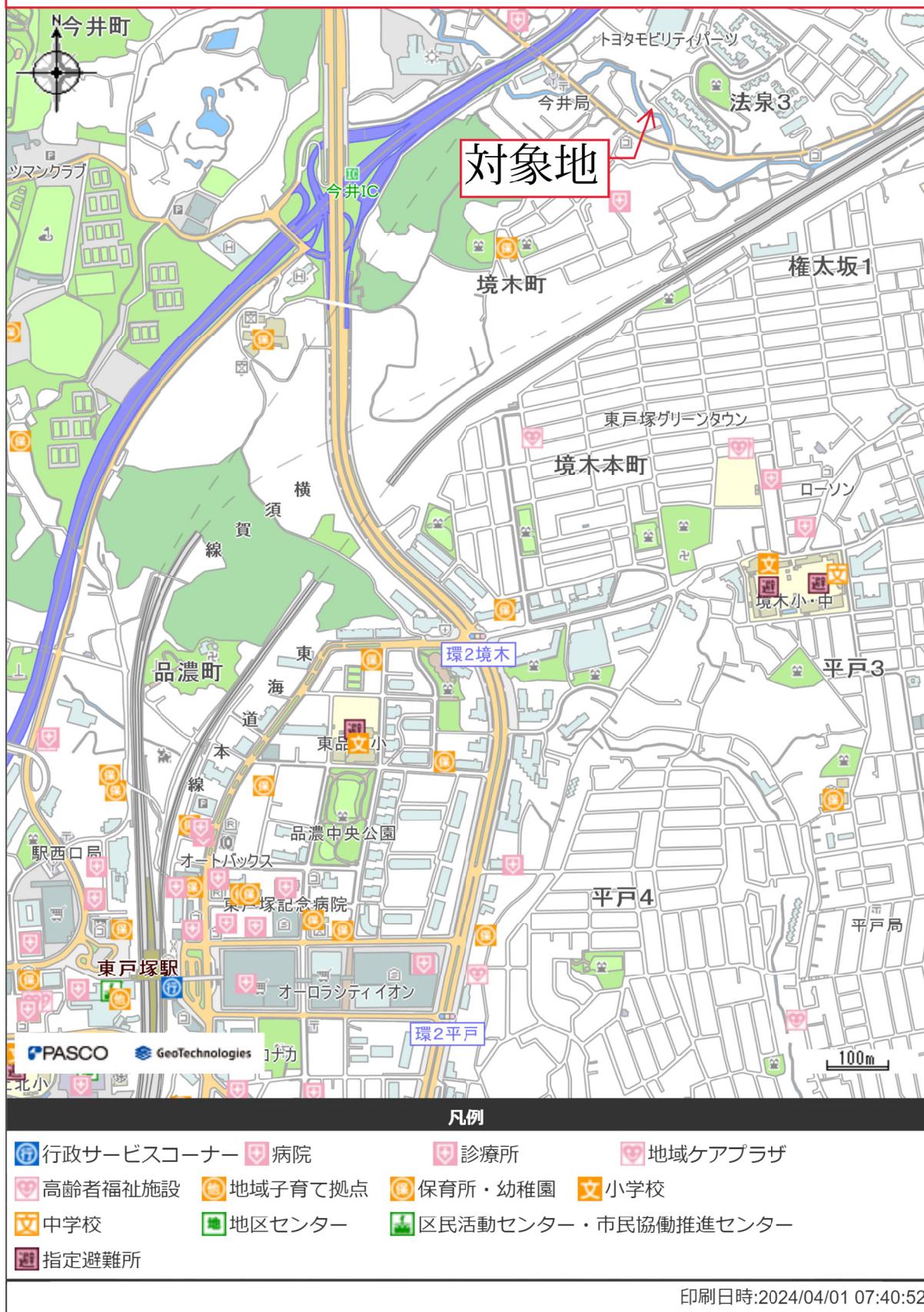
交通機関

- ・JR横須賀線「保土ヶ谷」駅より「住宅前」バス停 下車 徒歩2分
- ・JR横須賀線「東戸塚」駅より「今井町」バス停 下車 徒歩9分

現況図

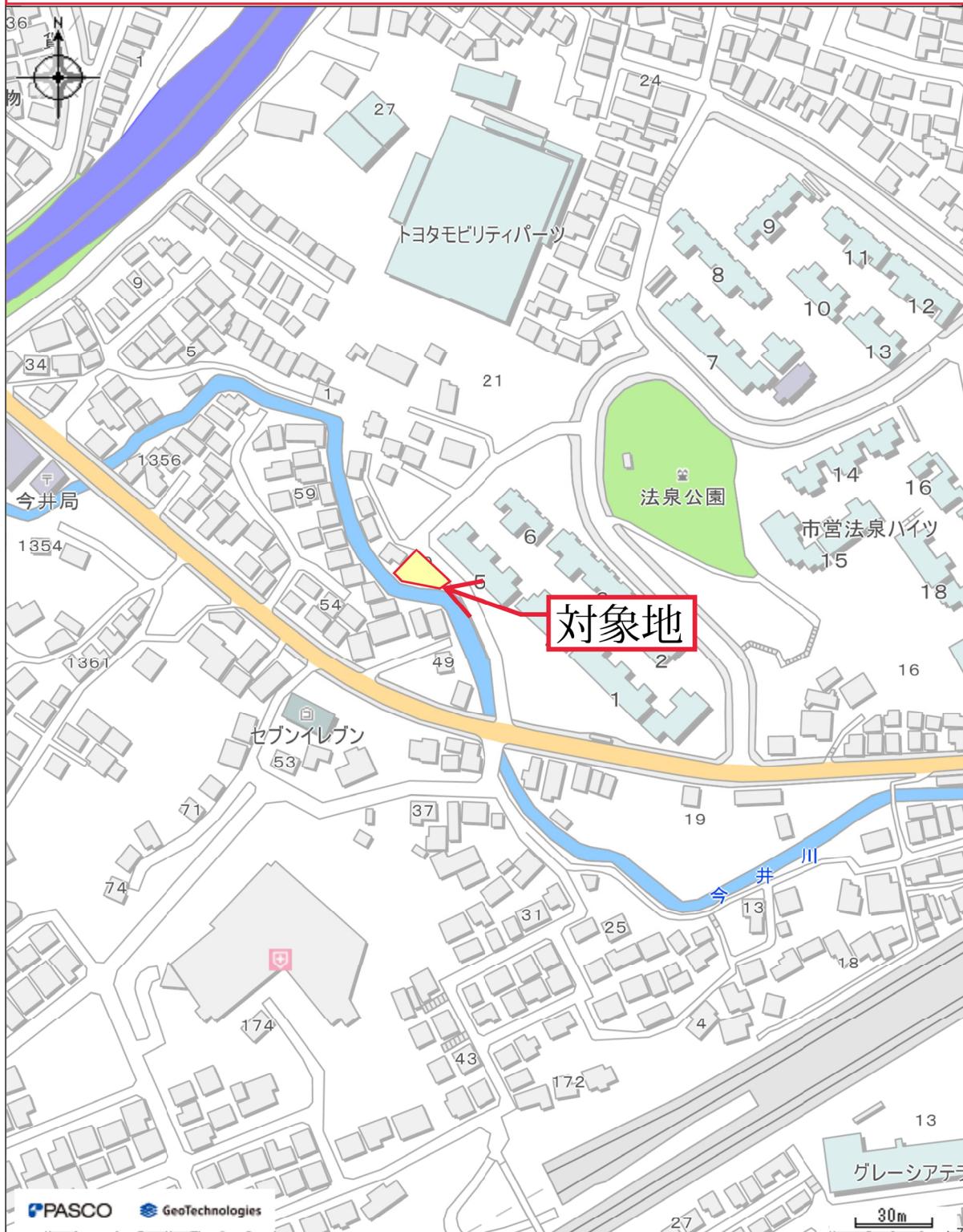


保土ヶ谷区法泉三丁目315番12



案内図

保土ヶ谷区法泉三丁目315-12

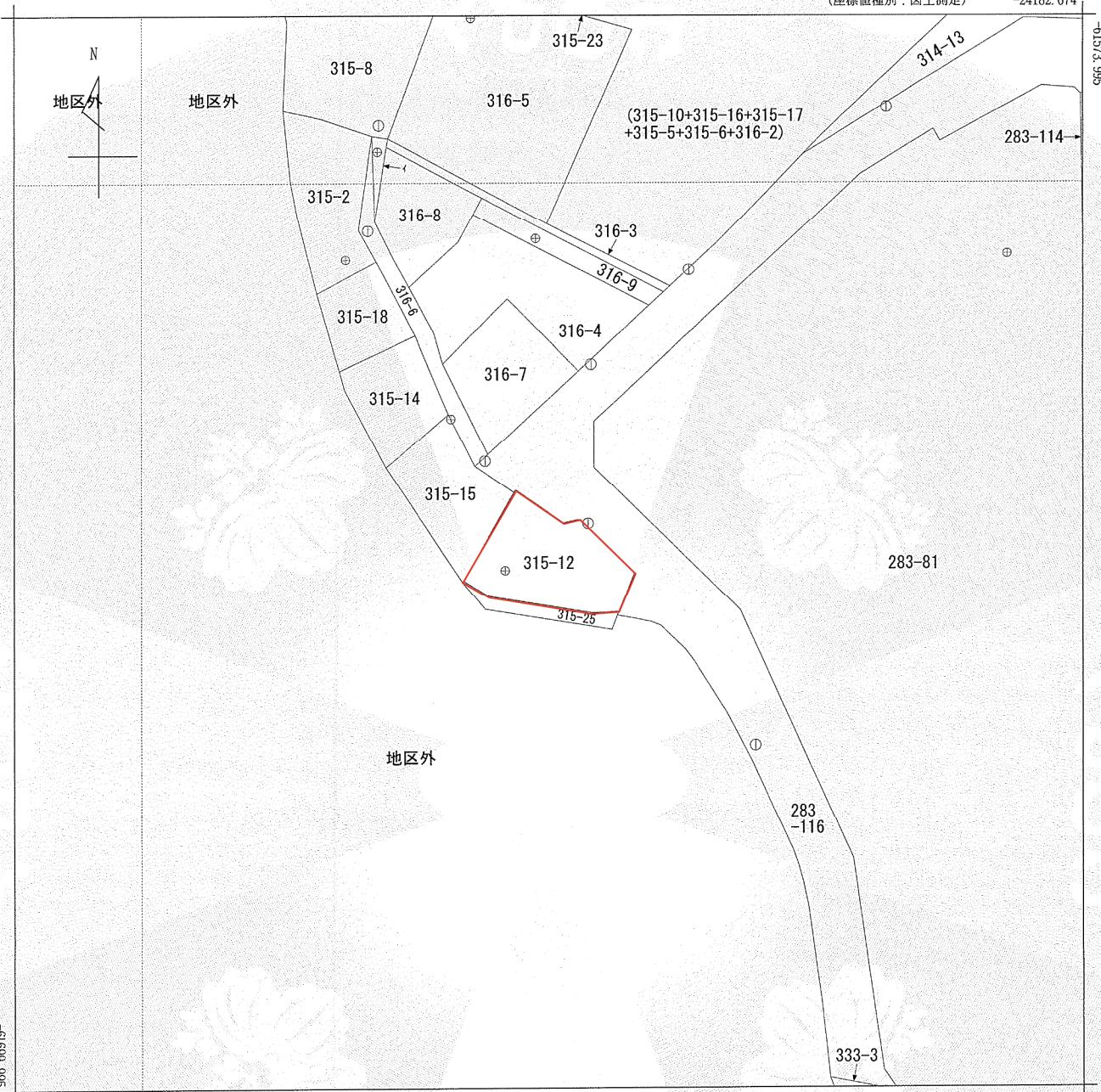


凡例

診療所

高齢者福祉施設

印刷日時:2024/04/01 07:40:52



-24307.674 (座標値種別: 図上測定)

(注) 国土交通省国土地理院が公表した座標補正パラメータ(touhokutaiheiyouoki2011.par)による修正がされています。



請求部分	所在	横浜市保土ヶ谷区法泉三丁目				地番	315番12
出力縮尺	1/500	精度区分	甲二	座標系番号又は記号	IX	分類	地図(法第14条第1項)国調法1 9-5指定
作成年月日		備付 年月日 (原図)				補記事項	

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

(横浜地方法務局神奈川出張所管轄)

令和7年9月22日

横浜地方法務局

請求番号: 63-1

登記官

(1/1)

公用

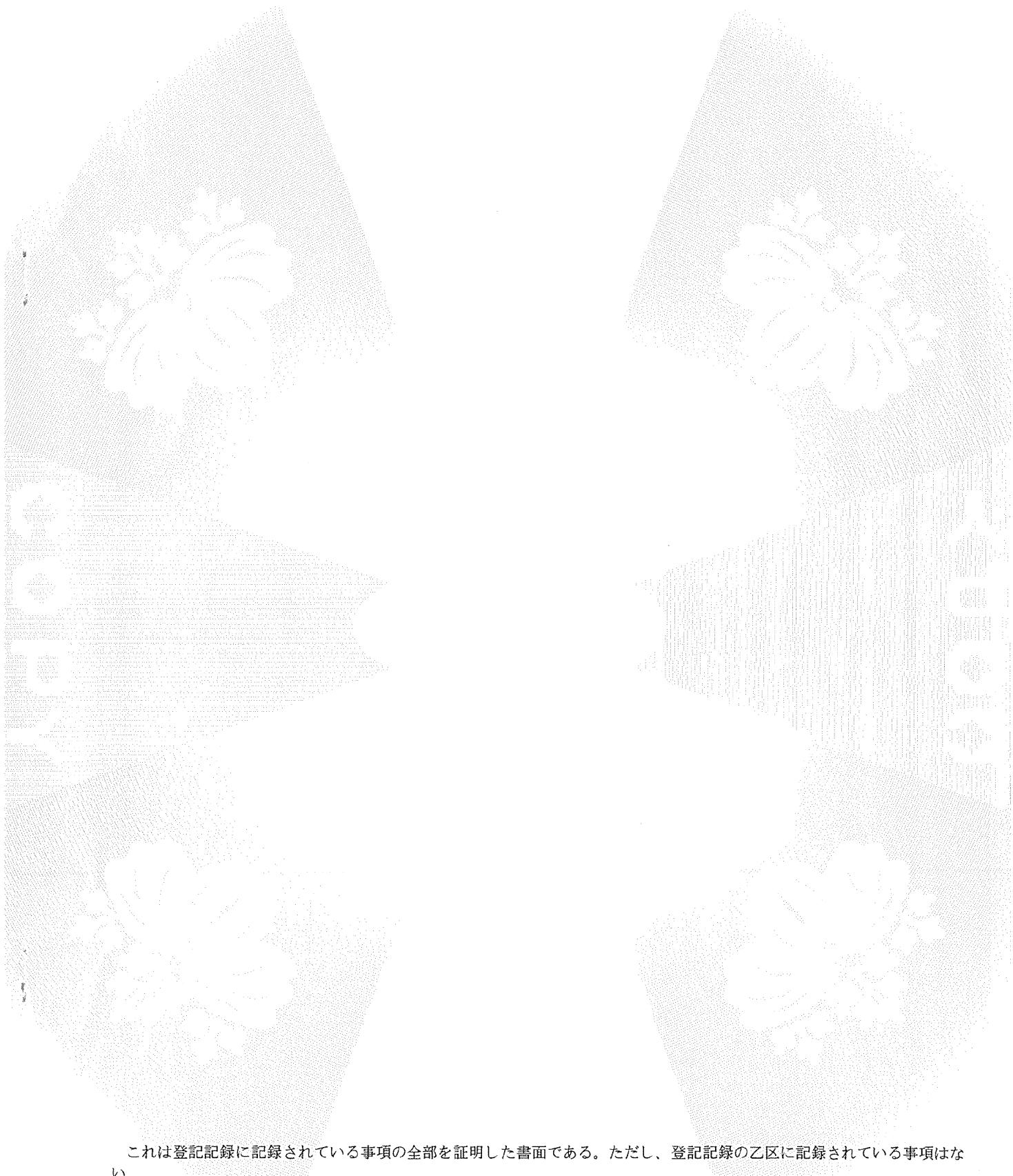
表題部 (土地の表示)			調製	平成8年2月22日	不動産番号	0205000228284
地図番号	A5 21-3	筆界特定	余白			
所在	横浜市保土ヶ谷区法泉三丁目			余白		
① 地番	②地目	③ 地積 町 反 収 番		原因及びその日付 [登記の日付]		
315番12	山林	⑩ 14		315番11から分筆 [昭和39年11月20日]		
余白	余白	⑩ 204		③315番13を合筆 [昭和39年11月20日]		
余白	余白	⑩ 200		③315番12、13に分筆 [昭和40年1月7日]		
余白	宅地	198 34		②③昭和39年12月10日地目変更 [昭和40年1月26日]		
余白	余白	194 14		③315番12、同番19に分筆 [昭和63年7月28日]		
余白	余白	余白		昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成8年2月22日		
余白	余白	197 35		③314番12を合筆 国土調査による成果 [平成12年8月24日]		
余白	余白	169 39		③315番12、315番25に分筆 [令和5年12月22日]		

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和60年2月22日 第11775号	原因 昭和60年2月21日売買 所有者 横浜市 順位16番の登記を移記
	余白	余白	昭和63年法務省令第37号附則第2条第2項 の規定により移記 平成8年2月22日
2	合併による所有権登記	余白	所有者 横浜市 平成12年8月24日登記



* 「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。



これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

(横浜地方法務局神奈川出張所管轄)

令和7年9月22日

横浜地方法務局

登記官

* 「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。

* 下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号 K50209 (-1/1)

2/2

座標求積表			
地番 (A) 315-12			
測点	Xn	Yn	$(X_{n+1} - X_{n-1})Y_n$
K24	494.554	500.304	2059.251264
K23	494.266	500.089	-4966.383859
K53	484.623	493.277	-5786.139210
K52	482.536	495.990	-2624.283090
K51	479.332	507.807	-1735.684326
K50	479.118	510.856	2125.671816
K6	483.493	513.123	5764.936905
K22	490.353	507.411	3377.835027
K21	490.150	505.495	2123.584495
		倍面積	338.789022
		面積	169.394510
		地積	169.39 m^2
地番 (B) 315-25			
測点	Xn	Yn	$(X_{n+1} - X_{n-1})Y_n$
K50	479.118	510.856	296.807336
K51	479.332	507.807	1735.684326
K52	482.536	495.990	2624.283090
K53	484.623	493.277	925.880929
K7	484.413	493.128	-1798.437816
K18	480.976	495.441	-3583.029312
K19	477.181	509.840	-1134.394000
K2	478.751	510.666	989.160042
		倍面積	55.954595
		面積	27.977295
		地積	27.97 m^2
合計 197.3718085			
測量年月日 令和5年11月21日 任意座標			
境界点・引照点座標リスト			
測点名	種別	X座標	Y座標
K1	横浜市道路杭	477.921	525.071
K3	横浜市道路杭	478.220	512.648
K26	横浜市道路杭	497.849	495.906
K28	横浜市道路杭	496.314	509.640
T1	多角点	500.000	500.000
T2	多角点	489.761	508.300
T3	多角点	478.698	519.009
T2-1	多角点	485.325	498.748
T3-1	多角点	484.160	508.762



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



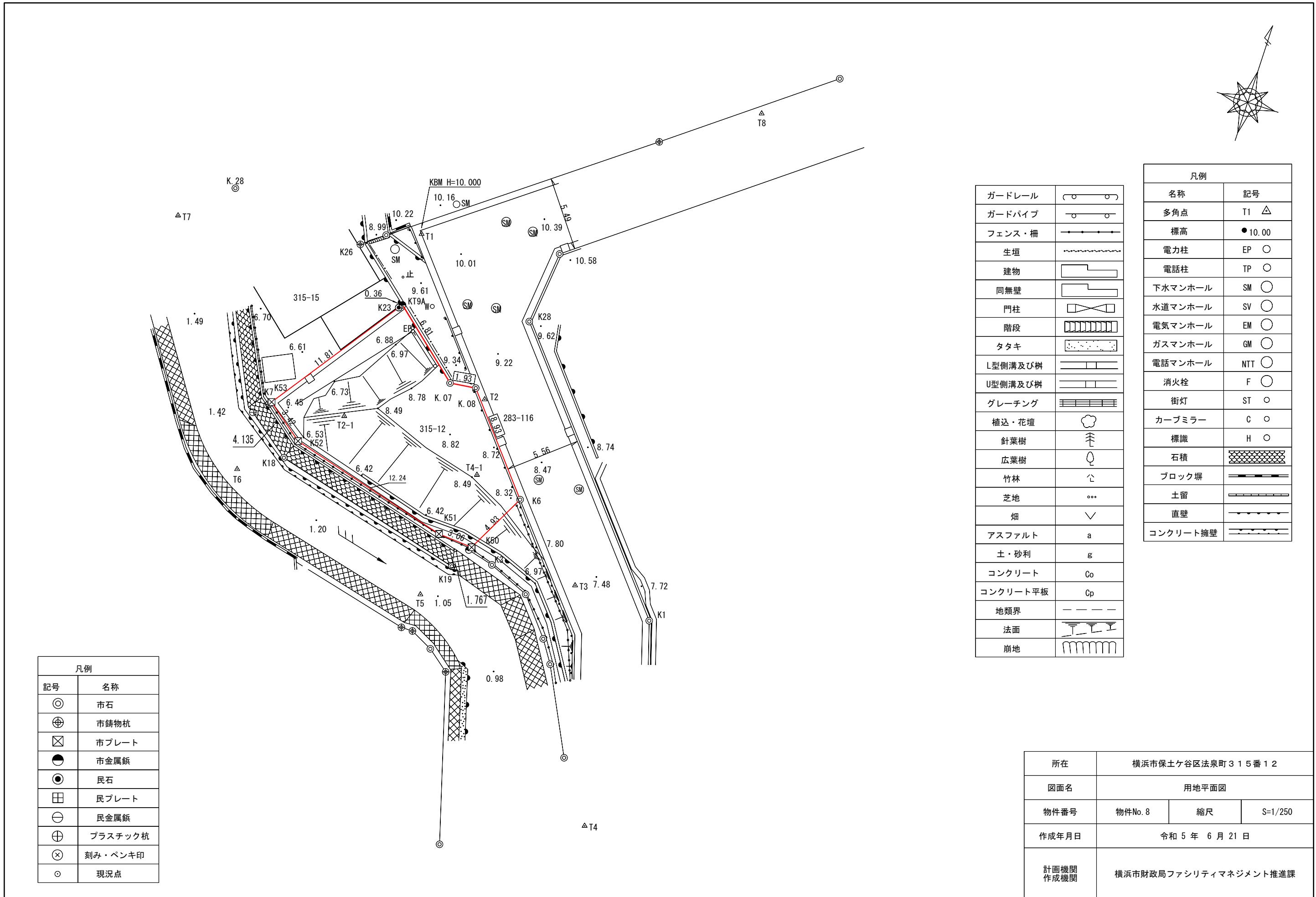
A拡大図 1/50



B拡大図 1/50



A拡大図 1/50



売買物件における水防法に基づく水害ハザードマップ及び過去の災害履歴情報（売買物件一覧）

物件番号2861 ~ 2864

物件番号2861 (鶴見区浜町二丁目9番17)	地域防災拠点：入船小学校（近隣）寛政小学校など		
水害ハザードマップ 浸水想定区域の該当の有無	洪水	雨水出水（内水）	高潮
	有	有	有
水害ハザードマップにおける想定被害及び 物件が所在する町における過去の災害履歴 (大雨による浸水被害)	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 0.5m ≤ 浸水深 (m) < 3.0m 内水 0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m 高潮 0.5m ≤ 浸水深 (m) < 3.0m 昭和54年～令和6年 大雨による浸水被害 累計2回 		

物件番号2862 (鶴見区浜町二丁目9番19)	地域防災拠点：入船小学校（近隣）寛政小学校など		
水害ハザードマップ 浸水想定区域の該当の有無	洪水	雨水出水（内水）	高潮
	有	有	有
水害ハザードマップにおける想定被害及び 物件が所在する町における過去の災害履歴 (大雨による浸水被害)	<ul style="list-style-type: none"> 洪水 0.5m ≤ 浸水深 (m) < 3.0m 内水 0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m 高潮 0.5m ≤ 浸水深 (m) < 3.0m 昭和54年～令和6年 大雨による浸水被害 累計2回 		

物件番号2863 (南区八幡町)	地域防災拠点：平楽中学校（近隣）中村小学校など		
水害ハザードマップ 浸水想定区域の該当の有無	洪水	雨水出水（内水）	高潮
	無	有	無
水害ハザードマップにおける想定被害及び 物件が所在する町における過去の災害履歴 (大雨による浸水被害)	<ul style="list-style-type: none"> 内水 0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m 平成26年 大雨による浸水被害 累計1回（八幡町） 大雨による浸水被害 なし（平楽） 		

物件番号2864 (保土ヶ谷区法泉三丁目)	地域防災拠点：初音が丘小学校（近隣）権太坂小学校など		
水害ハザードマップ 浸水想定区域の該当の有無	洪水	雨水出水（内水）	高潮
	無	有	無
水害ハザードマップにおける想定被害及び 物件が所在する町における過去の災害履歴 (大雨による浸水被害)	<ul style="list-style-type: none"> 内水 0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1m 大雨による浸水被害 なし 		

備考：

- ・水害ハザードマップは、横浜市行政地図情報提供システムにおける「わいわい防災マップ（洪水、内水、高潮浸水想定区域）」の令和7年7月時点の情報です。売買物件が洪水、内水、高潮のいずれかの想定被害区域内に位置する場合、想定被害の浸水深 (m) を記載しています。
- ・物件が所在する町における過去の災害履歴は、横浜市総務局危機管理部緊急対策課がホームページ上で公開している「横浜市の災害（過去の災害履歴）」のうち、大雨による浸水被害が発生した年代と累計の回数を記載しています。（必ずしも当該災害が売買物件所在地において発生したものではありません。）なお、大雨による浸水以外の被害（崖崩れや住居損壊等）については別途御確認ください。



(凡例)

【洪水】浸水想定区域（想定最大規模および計画規模）

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	

浸水想定区域が重複する地域（より深い浸水深を表示）

【内水】浸水想定区域（想定最大規模）

0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m	0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m	0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m
0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1.0m	1.0 ≤ 浸水深 (m) < 2.0m	2.0 ≤ 浸水深 (m)

【高潮】浸水想定区域

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	20.0 ≤ 浸水深 (m)

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）
土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）

緊急時給水マップ

緊急給水栓	耐震給水栓
災害用地下給水タンク	
配水池	配水槽

その他

地域防災拠点	地域防災拠点区割	広域避難場所
公園	災害用戸内協力の家	公衆トイレ
災害用ハマツコトイレ	緊急輸送路	消防団器具置き場
防火水槽	帰宅困難者一時滞在施設	鉄道
避難に適する道路		
大災害時でも通れる可能性が高い広い道路（概ね幅12m以上）		
避難に適さない道路		
避難や救助活動等が困難となる可能性のある狭い道路（4m程度）		

下記の表示は、旗の根本の部分における内容です。

注意：

地図の内容に関しては、総務局地域防災課へ御確認下さい。

【土砂災害警戒区域等】については令和6年7月時点の情報です。この図は法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。

横浜市総務局

2025/9/22 13:20:11



(凡例)

【洪水】浸水想定区域（想定最大規模および計画規模）

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	

浸水想定区域が重複する地域（より深い浸水深を表示）

【内水】浸水想定区域（想定最大規模）

0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m	0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m	0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m
0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1.0m	1.0 ≤ 浸水深 (m) < 2.0m	2.0 ≤ 浸水深 (m)

【高潮】浸水想定区域

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	20.0 ≤ 浸水深 (m)

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

- 土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）

緊急時給水マップ

緊急給水栓	耐震給水栓
災害用地下給水タンク	
配水池	配水槽

その他

地域防災拠点	地域防災拠点区割	広域避難場所
公園	災害用井戸協力の家	公衆トイレ
災害用ハマツコトイレ	緊急輸送路	消防団器具置き場
防火水槽	帰宅困難者一時滞在施設	鉄道
避難に適する道路		
大災害時でも通れる可能性が高い広い道路（概ね幅12m以上）		
避難に適さない道路		
避難や救助活動等が困難となる可能性のある狭い道路（4m程度）		

下記の表示は、旗の根本の部分における内容です。

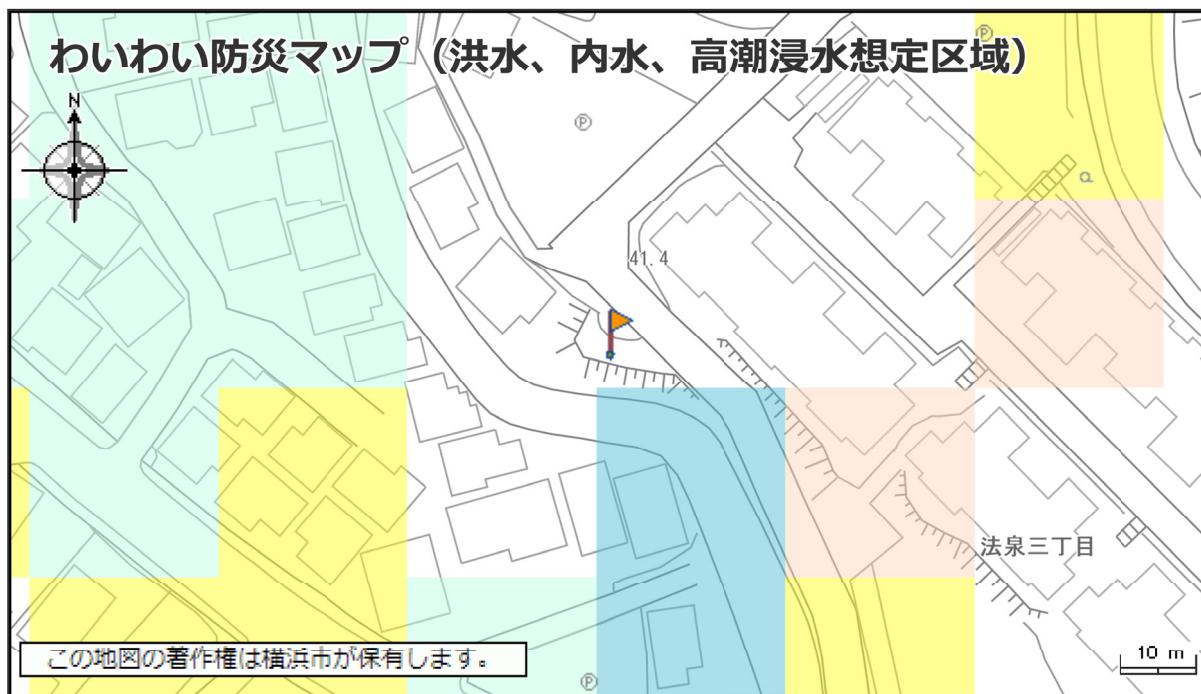
注意：

地図の内容に関しては、総務局地域防災課へ御確認下さい。

【土砂災害警戒区域等】については令和6年7月時点の情報です。この図は法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。

横浜市総務局

2025/9/22 13:21:11



(凡例)

【洪水】浸水想定区域 (想定最大規模および計画規模)

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	

浸水想定区域が重複する地域 (より深い浸水深を表示)

【内水】浸水想定区域 (想定最大規模)

0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m	0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m	0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m
0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1.0m	1.0 ≤ 浸水深 (m) < 2.0m	2.0 ≤ 浸水深 (m)

【高潮】浸水想定区域

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	20.0 ≤ 浸水深 (m)

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊・土石流)
- 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊・土石流)

緊急時給水マップ

緊急給水栓	耐震給水栓
災害用地下給水タンク	
配水池	配水槽

その他

地域防災拠点	地域防災拠点区割	広域避難場所
公園	災害用井戸協力の家	公衆トイレ
災害用ハマツコトイレ	緊急輸送路	消防団器具置き場
防火水槽	帰宅困難者一時滞在施設	鉄道
避難に適する道路		
大災害時でも通れる可能性が高い広い道路 (概ね幅12m以上)		
避難に適さない道路		
避難や救助活動等が困難となる可能性のある狭い道路 (4m程度)		

下記の表示は、旗の根本の部分における内容です。

注意 :

地図の内容に関しては、総務局地域防災課へ御確認下さい。

【土砂災害警戒区域等】については令和6年7月時点の情報です。この図は法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。



(凡例)

【洪水】浸水想定区域（想定最大規模および計画規模）

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	

浸水想定区域が重複する地域（より深い浸水深を表示）

【内水】浸水想定区域（想定最大規模）

0 ≤ 浸水深 (m) < 0.02m	0.02 ≤ 浸水深 (m) < 0.2m	0.2 ≤ 浸水深 (m) < 0.5m
0.5 ≤ 浸水深 (m) < 1.0m	1.0 ≤ 浸水深 (m) < 2.0m	2.0 ≤ 浸水深 (m)

【高潮】浸水想定区域

0 < 浸水深 (m) < 0.5m	0.5 ≤ 浸水深 (m) < 3.0m	3.0 ≤ 浸水深 (m) < 5.0m
5.0 ≤ 浸水深 (m) < 10.0m	10.0 ≤ 浸水深 (m) < 20.0m	20.0 ≤ 浸水深 (m)

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）
土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊・土石流）

緊急時給水マップ

緊急給水栓 耐震給水栓

災害用地下給水タンク

配水池 配水槽

その他

地域防災拠点	地域防災拠点区割	広域避難場所
公園	災害用井戸協力の家	公衆トイレ
災害用ハマツコトイレ	緊急輸送路	消防団器具置き場
防火水槽	帰宅困難者一時滞在施設	鉄道
避難に適する道路		
大災害時でも通れる可能性が高い広い道路（概ね幅12m以上）		
避難に適さない道路		
避難や救助活動等が困難となる可能性のある狭い道路（4m程度）		

下記の表示は、旗の根本の部分における内容です。

注意：

地図の内容に関しては、総務局地域防災課へ御確認下さい。

【土砂災害警戒区域等】については令和6年7月時点の情報です。この図は法定図面ではありませんので、公に証明する資料として利用することはできません。参考図としてご利用ください。

横浜市総務局

2025/9/22 13:23:23

所在地

横浜市保土ヶ谷区法泉三丁目315番12

物件番号2864

参考写真

最新の状況ではありませんので、現地は必ず御確認ください。



参考写真

最新の状況ではありませんので、現地は必ず御確認ください。

